

## 集中治療領域における希少疾患，血栓性微小血管症（TMA）の診断遅延をゼロにする！

### 研究キーワード

希少疾患，血液疾患，集中治療，臨床診断，レジストリ構築，症例報告

### 研究概要

本プロジェクトは集中治療領域でごく稀にしか遭遇しないがゆえに診断や治療が遅れてしまう「血栓性微小血管症（TMA）」という希少疾患に対し「一例も見逃さない診療体制」を構築することを目標としています。具体的には、以下のステップで進めています。

- ① 日本集中治療医学会の大規模データベース（JIPAD）を用いた疫学調査で、診断・治療が遅れている現状を明らかにする。
- ② 実際の症例を丁寧に追跡し、TMAの診断がなぜ難しいのかを症例報告（ケースシリーズ）という形で明確にする。
- ③ 多施設共同で必要な追加データ（血液検査や特殊検査）を収集し、全国規模の研究を進める基礎データを構築する。
- ④ 将来的には全国的なTMA診療データベースを構築し、集中治療の質を全国規模で向上させる医療システムに繋げる。

みなさんには特に②の実際の症例報告に参加していただきます。患者さん一人一人の臨床経過を丁寧に解析し「なぜ診断が難しかったのか」「どのようにすれば早期診断できるのか」を具体的に考察し、学会発表や論文作成を経験していただきます。

### SA学生さんへのアピールポイント

- ✓ 実際の症例を通じて集中治療の現場をリアルに体感できる！
- ✓ 臨床診断・意思決定プロセスを深く学び、医師としての思考力を鍛える！
- ✓ 症例報告の作成や学会発表を経験し、アカデミックなスキルや業績を身につけられる！

